

キャラクター名  
桐嶋螢

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス		ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	女子高校生
	モルフェウス					
オプション			年齢	17	性別	♀
覚醒	憤怒	衝動	自傷	初期侵食率	33	%
出自	天涯孤独	経験	技術畑	邂逅	慕情	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	33
肉体	2	1	2	1		6	行動値	9
感覚	4	0	0			4	(非装備時)	9
精神	0	0	1			1	戦闘移動	14
社会	2	0	0			2	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	5		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志	2	2	調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:〈UGN〉	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:〈噂話〉	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
シールドクリエイト	白兵	6r+5	21	0		コスト5。マイナーで作成。錬金術効果。
		0				
砂をばらまく！	白兵	6r+5	21	0		コスト2。シールド+結界。
砂をもーっとばらまく！	白兵	6r+5	21	0		コスト6。シールド+結界+祝福。

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品	
思い出の一品	
応急手当キット	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
錬金術師	P	N		
留寿都=シュウ・レミングス	P 尊敬	N 嫉妬		
昇華) 司祭さん	P 好意	N 不信感		
五代さん	P 好奇心	N 嫉妬		
アルバさん	P 連帯感	N 疎外感		
要さん	P 連帯感	N 不安		
昇華) 龍円さん	P 連帯感	N 不安		

最大財産P: 4 残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:モルフェウス	2	2	Xジャー	-	-	-	-	
効果: C値を-LV								
シールドクリエイト	7	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 武器作成・装備。白兵/命中・攻撃0/ガード[LV*2+4]								
インスタントボム	3	3	Xジャー	至近	-	対決	-	
効果: 装甲無視。攻撃力+[LV*2]								
砂の加護	2	3	オート	視界	単体	自動	-	
効果: 判定ダイス+[LV+1]。1回/R。								
砂の結界	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果: ダメージロールの直前に使用。カバーリングで行動済みならず行動済みでも使える。1回/メイン。								
砂の祝福	1	4	オート	至近	自身	自動	-	
効果: 《砂の結界》前提。カバーリングの射程[LV*10]m。1回/シーン。								
無上厨师	1	-	Xジャー	-	-	自動	-	
効果: 空気から料理を！作る！								
壁抜け	1	-	Xジャー	-	-	自動	-	
効果: あたしに通れない場所はなーい！								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「Go to the Sweet Escape」用 経験点65点

「こんな力を持っていないければ、あたしもあなれたのかな。それとも、この力を持つてから憧れるのかな」

きりしまはたる。JKに憧れを持つUGNチルドレンの少女。戦闘力や社会性が低めだったため、元々は裏方作業を行うことが多かった。しかしふと「外の世界」を見た時、普通の人間——少女たちが楽しそうに笑いながら話しているのを見た時、外に出たいと強く思うようになる。周囲をとことん説得し、社会勉強の一環として学校に通う許可をもち取った。それに伴い、事件に巻き込まれても対応できるようにと、戦闘訓練の回数を増やしている。裏方時代はアールラボで研究の手伝い(雑用)を行っていたが、度々出会う姫宮には複雑な感情を抱いている。

桐嶋螢、という名前はチルドレン教育施設“ホーム”で出会った桐生嚙矢に付けてもらったもの。彼からは「ケイ」と呼ばれている。彼以外には決して「ケイ」とは呼ばせない。

あたし/君・あんななど気分による。女の子に対してはちゃん付け、男の子に対しては名字呼び捨て(女子高生の真似)普通の生活に憧れを持ってはいるが、自分は自分である(UGNチルドレンである)という線引きを明確に行っている。そのため境遇に対して疑問を浮かべることはあっても、悲観することはない。

■「World End Juvenile」後 -----  
異動先となった楓市にすっかり馴染んでいる模様。一人暮らしも高校生活も楽しい！トモダチも増えている。嫉妬盛りだくさんだった留寿都さんはすっかり頼れる人になっているけどあまり自覚はない。姫宮さんと最近会っていないなあ～